

第5章 地域別構想

5—1 地域区分の設定

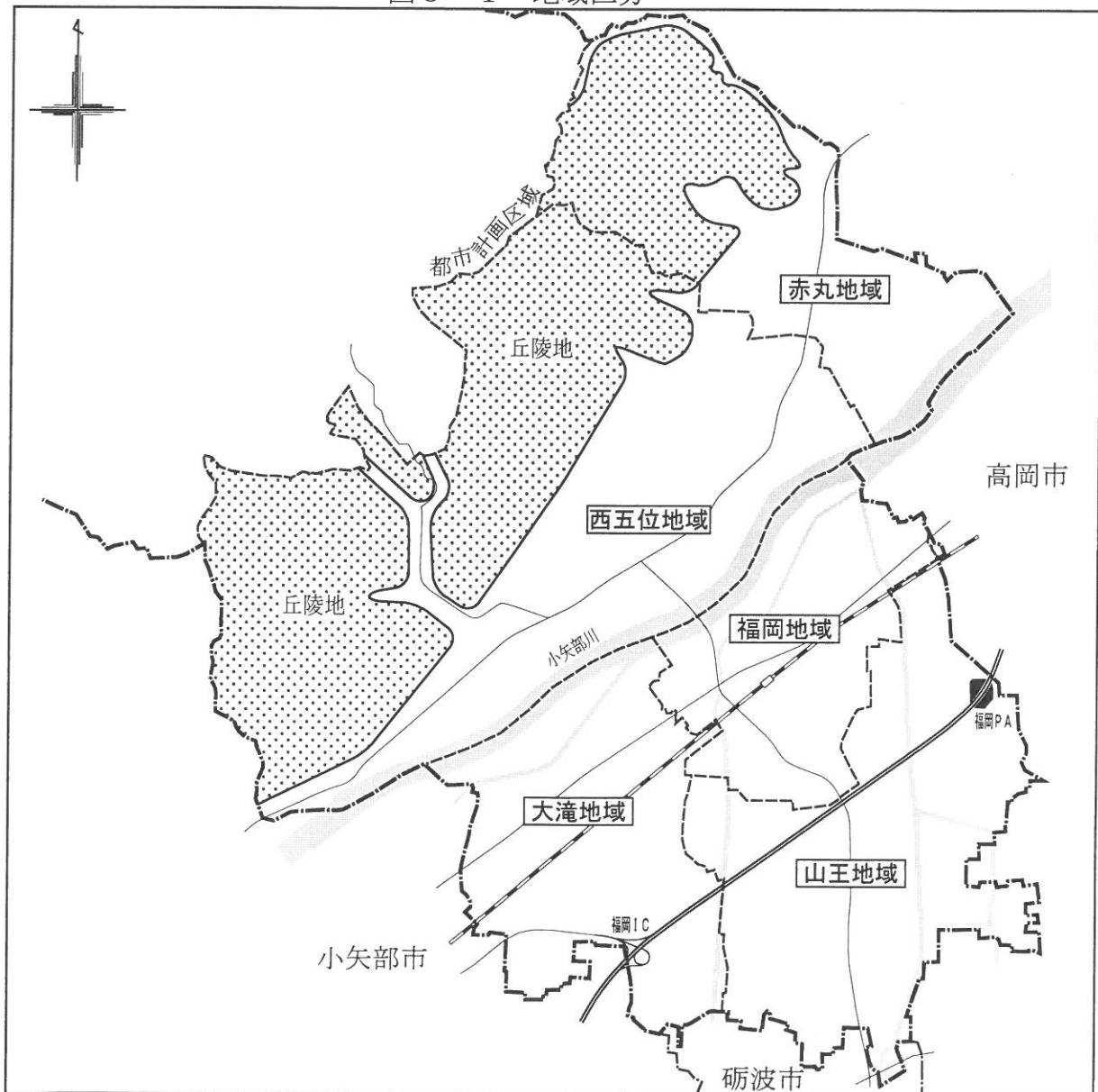
(1) 地域区分の設定

地域区分の設定にあたっては、地形的条件や土地利用または日常生活上の交流範囲等を考慮しながら行うこととする。

地域は、市街地となる用途地域内を福岡地域とし、用途地域外の農村地域は日常生活上の交流範囲となる旧村界で分けて、都市計画区域内を下図のように福岡、山王、大滝、西五位、赤丸の5つの地域に分ける。

ただし、西明寺は町北西の五位山地域に属するが西五位地域に含めていく下図のような区域とする。

図5-1 地域区分

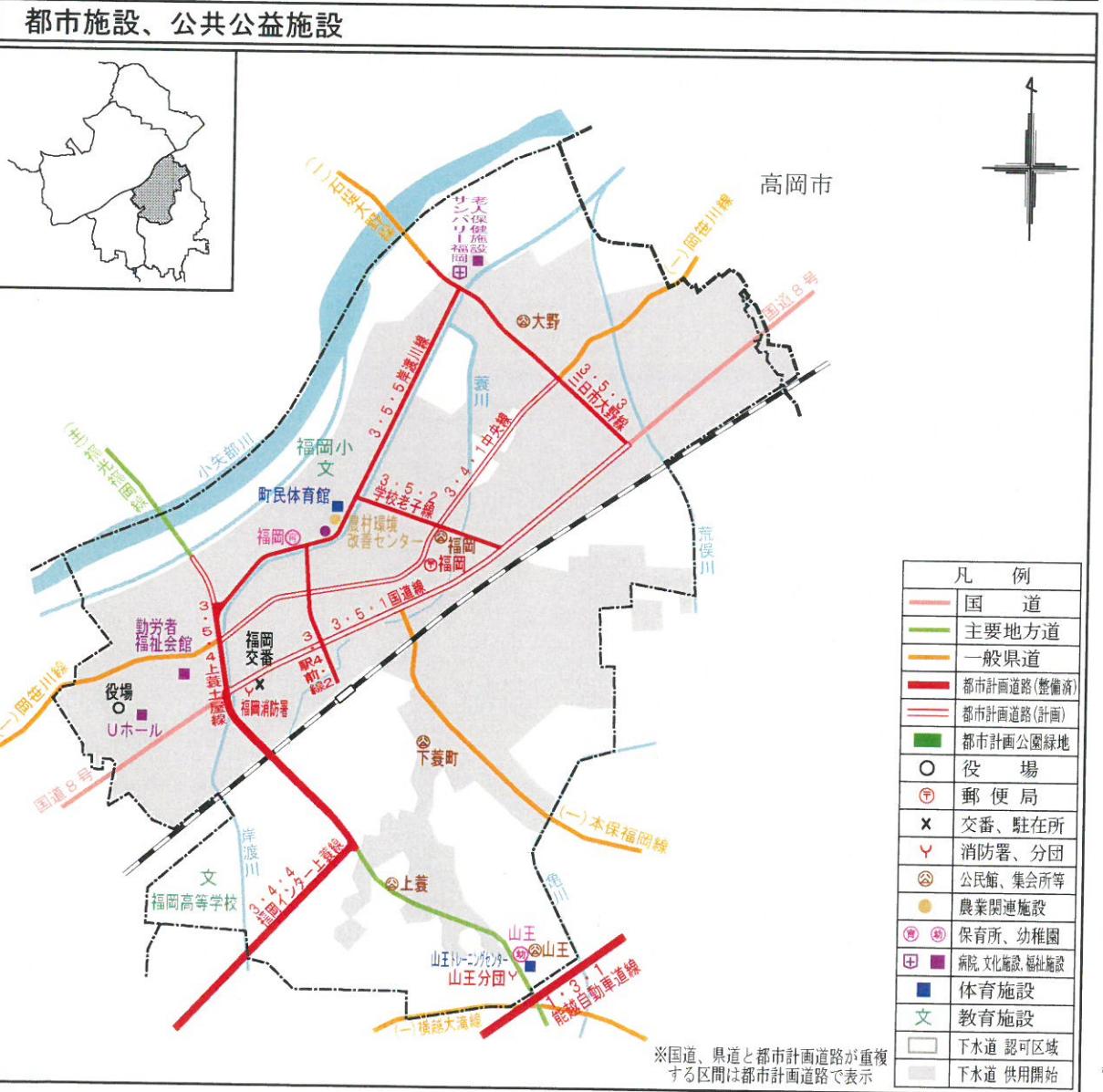


5-2 地域別特性

(1) 福岡地域

地域の位置づけ		地域別人口及び人口密度	
		昭和60年	平成12年
人口 (人)	4,172	4,563	
人口増加率 (%)	9.37		
可住地面積 (ha)	183		
人口密度 (人/ha)	22.80	24.93	

地域の現況特性	
JR福岡駅前周辺は旧北陸街道の宿場町として発展してきたところであるが、空き地や空き家または空き店舗が多く、中心部は人口減少が進んでいる。	
一方、その周辺部では住宅団地等の整備により人口増加を示す地区がみられるが、鉄道より南側は、農地が多く残り、都市基盤整備が必要となってきている。	
都市計画道路は鉄道より南側には少ない状況にある。整備状況は市街地中心を通る路線において未整備の路線がみられる。	



都市計画の決定状況

■用途地域

	面 積	建ぺい率	容積率
第一種低層住居専用地域	16ha	40%	60%
第一種中高層住居専用地域	75ha	60%	200%
第一種住居地域	76ha	60%	200%
第二種住居地域	5ha	60%	200%
近隣商業地域	19ha	80%	200%
準工業地域	42ha	60%	200%
工業地域	20ha	60%	200%
計	253ha		

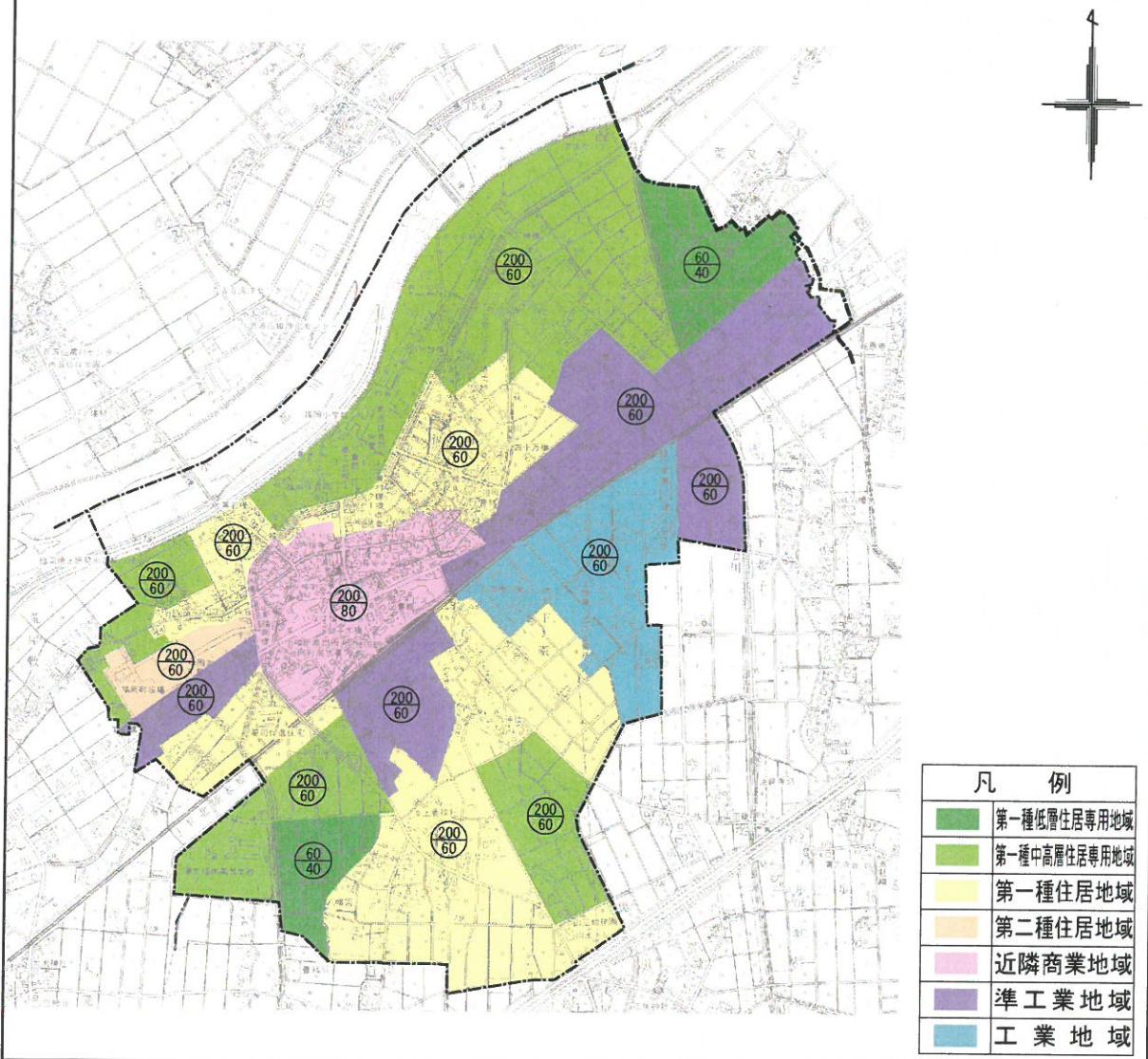
■都市計画道路

番号、名称	計画幅員	計画延長	改良済概成済
3・4・1 中央線	12~16 m	1,330 m	0 m
3・4・2 駅前線	12~16	400	400
3・4・4 福岡インター上蓑線	16~21	2,390	2,390
3・5・1 国道線	15	1,400	0
3・5・2 学校老子線	12	440	440
3・5・3 三日市大野線	12	800	800
3・5・4 上蓑土屋線	16~22	1,050	600
3・5・5 岸渡川線	12	1,230	1,230

■都市計画区域内の下水道

計画決定	処理面積 261 ha	処理人口 7.4千人
施 行 済	処理面積 132 ha	処理人口 3.4千人

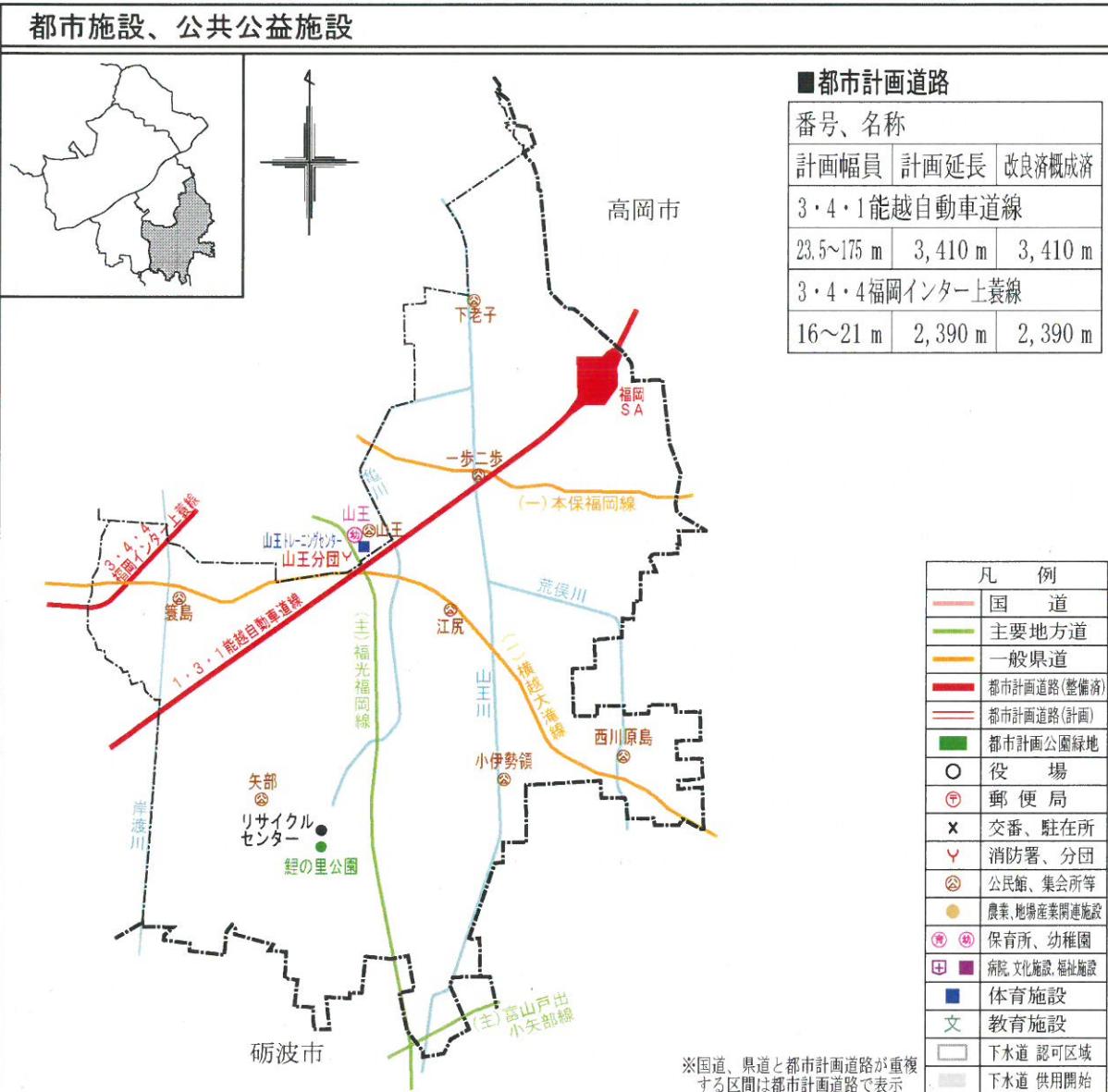
用途地域の指定状況



(2) 山王地域

地域の位置づけ		地域別人口及び人口密度	
市街地の南側に位置し、東は高岡市、南は砺波市に接している。		人口 (人)	昭和60年 平成12年
地域全体は農村地域としての利用が図られているなかで、養鯉業など地域特有の産業がみられる。		人口増加率 (%)	36.96
		可住地面積 (ha)	399
		人口密度 (人/ha)	4.79 6.56

地域の現況特性	
主に農村地域となっているなかで、土地が安価であることなどから住宅団地や大規模工場の立地がみられる。農村地域は主に稲作を中心であるが、地域南部では豊富な地下水を利用して養鯉業が行われている。都市計画道路は2路線計画されてほぼ整備されている。下水道は計画が進められているが未整備となっている。	
地域内の公共公益施設は、公民館が7箇所と養鯉技術センターが立地している。地域の中心となる幼稚園などは、用途地域内である福岡地域に位置している。	



(3) 大滝地域

地域の位置づけ

市街地の西側に位置し、西側は小矢部市に接している。主に農村地域となっているが、交通の利便性が高いことから建物の立地が多くみられる。

地域別人口及び人口密度

	昭和60年	平成12年
人口 (人)	1,857	2,268
人口増加率 (%)	22.13	
可住地面積 (ha)		309
人口密度 (人/ha)	6.01	7.34

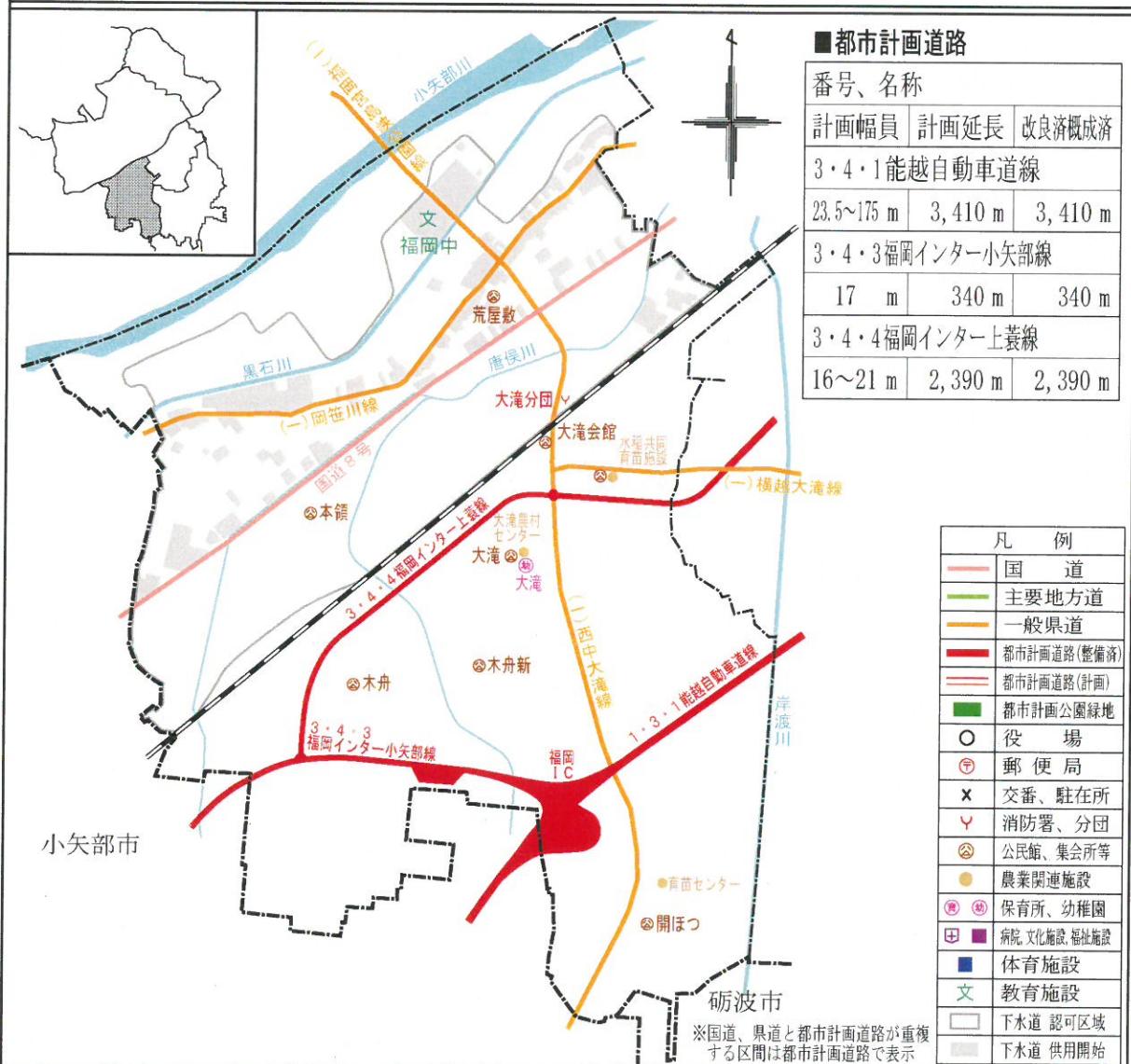
地域の現況特性

主に農村地域であるが、鉄道より北側は建物の立地が多くみられる。福岡 IC周辺は交通の利便性が向上したことで、土地の有効利用が期待されている。

都市計画道路は3路線が計画決定されており地域内は整備済となっている。下水道は地域の北側から順次整備が進められてきている。

公共公益施設は地域の中心部に幼稚園等が立地し、各集落には公民館や農業関連施設が立地している。また、地域北部には福岡中学校が立地している。

都市施設、公共公益施設



(4) 西五位地域

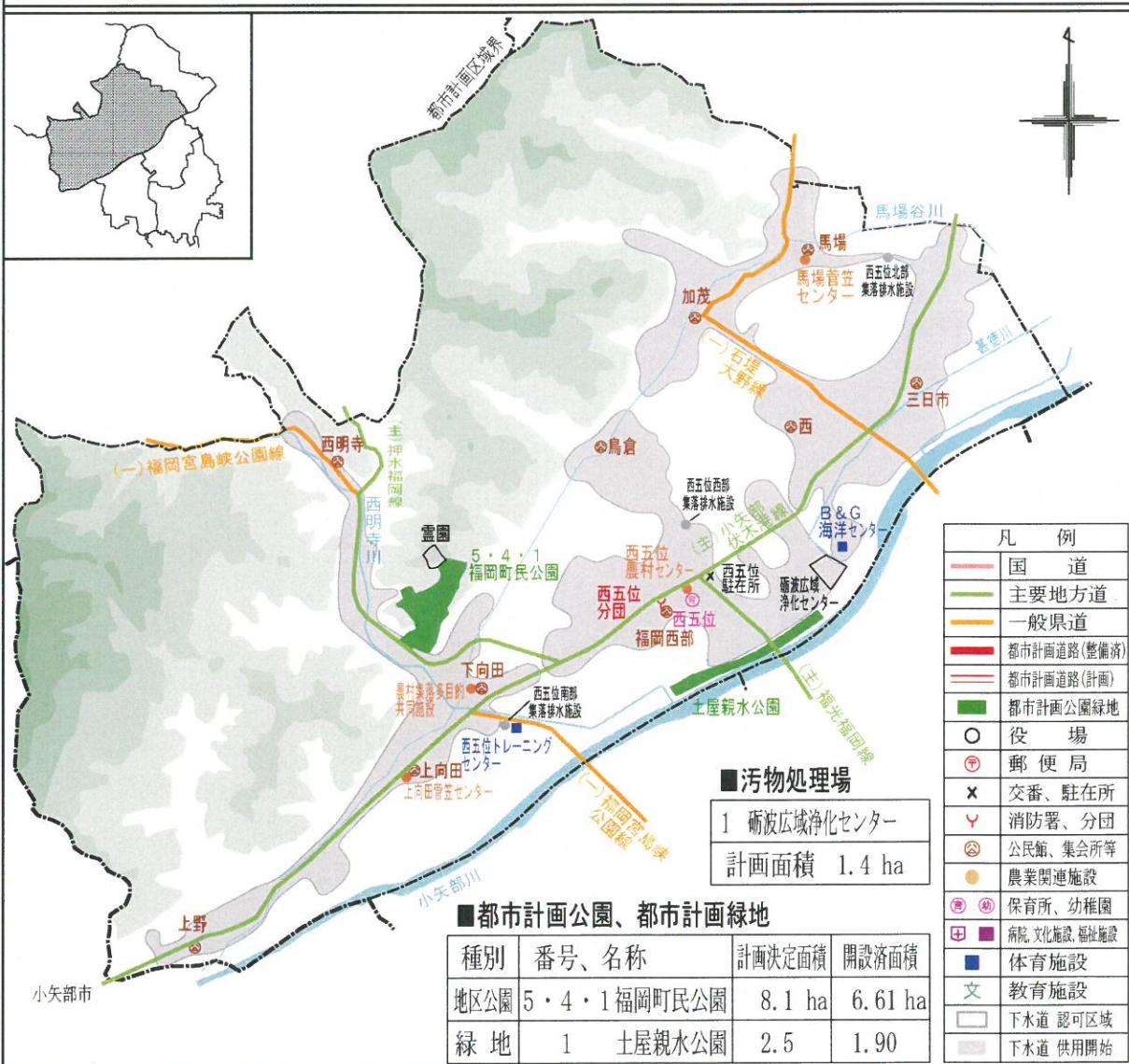
地域の位置づけ		地域別人口及び人口密度	
市街地の北西に位置する地域で、西側は小矢部市に接している。		人口 (人)	昭和60年 平成12年 2,449 2,219
地域北西は丘陵地が占め、南東側は稻作を中心とした農村地域でまとまりのある農地が広がっている。		人口増加率 (%)	-9.39
		可住地面積 (ha)	1,029
		人口密度 (人/ha)	2.38 2.16

地域の現況特性

主に稻作を中心とした農村地域で工場の立地もみられるが、丘陵地の緑や平野を流れる河川など比較的自然が多く保全されている。都市施設としては、豊かな自然を活かして公園と緑地が1箇所ずつ指定されている他、汚物処理場が指定されている。公園や緑地は未整備の区域がみられる。

下水道は農業集落排水事業によりほぼ整備されている。公共公益施設は、地域中心に保育園や駐在所が立地し、各集落には公民館や農業関連施設が立地している。

都市施設、公共公益施設



(5) 赤丸地域

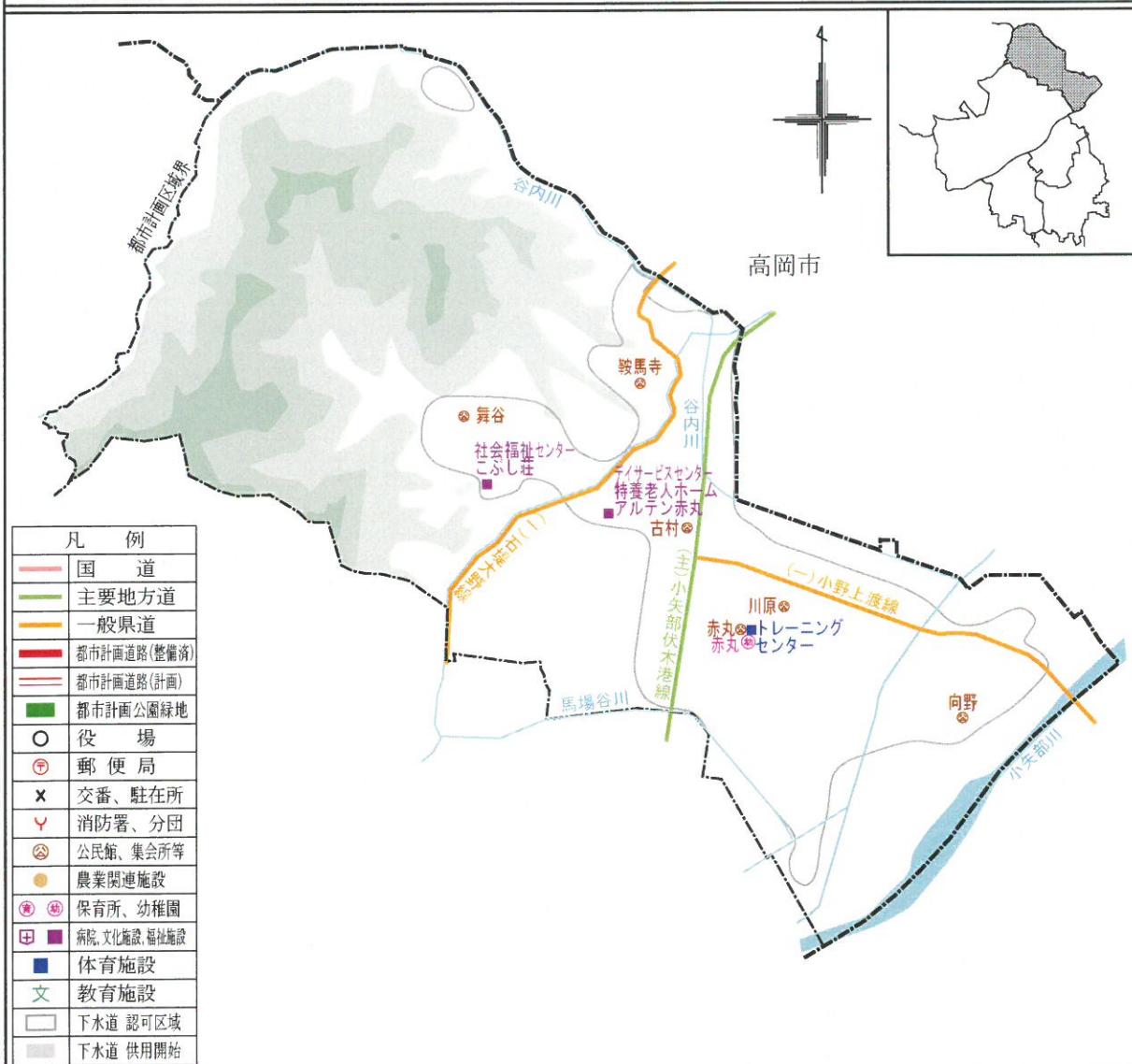
地域の位置づけ	地域別人口及び人口密度	
町の北東に位置し、北及び東側は高岡市に接している。	昭和60年	平成12年
地域の北西は丘陵地で、南東は平野で稲作を中心とした農村地域となっている。	人口 (人)	1,106 1,345
	人口増加率 (%)	21.61
	可住地面積 (ha)	405
	人口密度 (人/ha)	2.73 3.32

地域の現況特性

主として稲作を中心とした農村地域が広がっているなかで、地価が安価であることなどから幹線道路沿いなどには工場の立地がみられる。

地域内の下水道は、計画が順次進められているが供用開始されている区域はない。公共公益施設は、地域の中心部に幼稚園などが立地し、各集落には公民館が立地している。また、福祉施設として特別養護老人ホームや社会福祉センターが立地している。

都市施設、公共公益施設

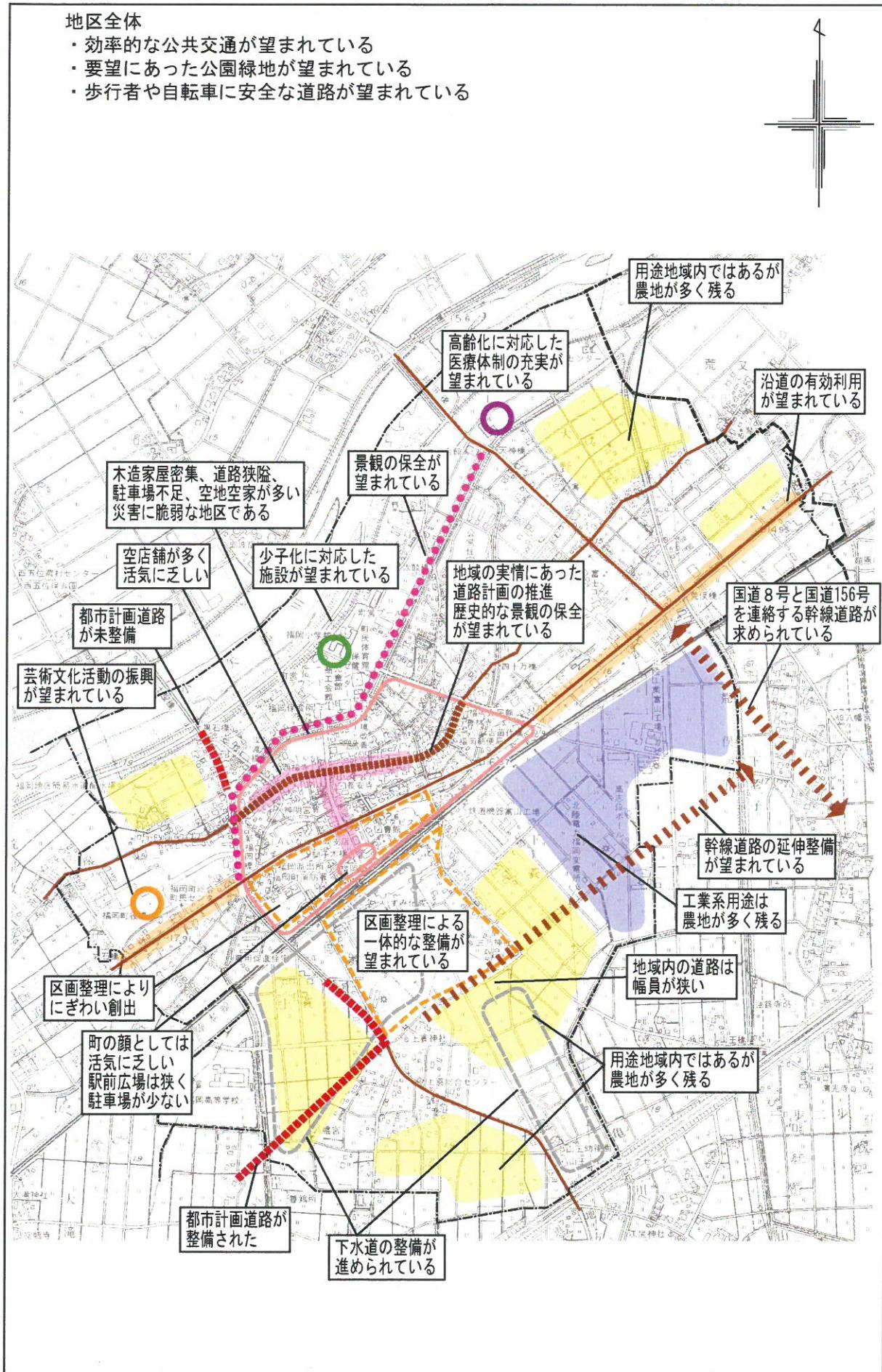


5 — 3 地域別の問題点と課題

(1) 福岡地域

土地利用	<p>市街地の住宅地は、木造家屋密集、道路狭隘、駐車場不足、空地や空家の増加などの諸問題が多くある。市街地周辺では、農地が残り市街化が遅れている。</p> <p>商業地は、空き店舗が多く営業店舗がばらばらに立地して活気につしく、魅力が薄れている。国道8号沿いは沿道として有効的な土地利用が望まれている。</p> <p>工業系用途地域内は、幅員が狭い道路が多く、農地が多く残っている状況にある。</p>
都市施設	<p>都市計画道路は円滑に交通を処理すべく整備促進を基本とするなかで、地域の実情にあった柔軟な道路計画が望まれている。</p> <p>駅前広場は狭く駅周辺の駐車場や駐輪場が少ないなかで、公共交通の利用が年々減少傾向にある。</p> <p>公園緑地は中心市街地に少ない状況にあり、うるおいが少なく災害の対して脆弱な地区となっている。</p> <p>下水道は鉄道より南側の地区は順次整備が進められているなかで、供用開始に向けて早急な整備が望まれている。</p> <p>駅前周辺の再開発または駅南地区において市街化を促進していくため、区画整理事業等による一体的な整備が望まれている。</p>
都市景観	<p>旧北陸街道は歴史的な街並みが残る区間や神社仏閣など地域の歴史的が残るところが見られるが、年々歴史的な建物が少なくなり保全及び創出の意識が高まりつつある。</p> <p>駅前周辺及び駅前通りは町の玄関口や中心地区としてふさわしい景観の向上が求められている。</p> <p>岸渡川の桜は、毎年イベントを行い多くの人びとが訪れていることから、住民の愛着や誇りになってきている。</p> <p>景観向上にあっては、行政、団体、住民が一体となった体制づくりを進め住民主導で進めていくことが望まれている。</p>
都市環境	<p>市街地中心部は災害に対して脆弱な地区となっている他、住環境が悪化して人口減少が続いている。</p> <p>少子高齢化が進行しているなかで、子育てしやすい環境やケア施設など公共公益施設の充実が求められている。</p> <p>積雪時における快適性が求められており、建物が密集する市街地中心部においては屋根雪おろしの必要性がある。</p> <p>保健福祉として医療体制の充実が求められている他、生涯学習、生涯スポーツ施設や地域コミュニティ醸成が望まれている。</p> <p>地域の文化や産業などの資源を活かして、芸術文化活動の発展や地域間交流や国際交流の振興が望まれている。</p> <p>安心して暮らせるまちとしていくため、防災や公害防止としての対策の実施や消防、緊急体制の確立が求められている。</p>

地域別の課題図（福岡地域）



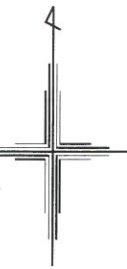
(2) 山王地域

土地利用	<p>幹線道路沿いや集落に近接する小区画な農地等は、土地利用の動向をふまえて、有効的な土地利用が望まれている。</p> <p>まとまって農地が存在しているところは、良好な農業生産の場として保全が望まれている。</p> <p>良質な地下水が豊富である地域の特徴を活用した養鯉業は、町の特徴として保全し、特産として町の活性化のために活用を図ることが望まれている。</p>
都市施設	<p>県道は自転車歩行者道が整備されていない区間がみられ、生活道路は幅員が狭い区間がみられる。また福岡ＩＣと市街地を連絡する明確な道路が望まれている。</p> <p>公共バスは運行されているが利用者は少ない。環境への意識が高まり高齢化が進むなかで、利用しやすい公共交通が求められている。</p> <p>公園緑地は地域内には少ないなかで、住民のニーズにあった公園緑地の整備が求められている。</p> <p>地域内には下水道の計画が順次進められているなかで、供用開始に向けて整備促進が望まれている。</p>
都市景観	<p>地域の風土により自然的に形成してきた良好な田園景観は、住民の自発的な活動により景観の保全が望まれている。</p> <p>住宅団地の開発や大規模な工場が立地するなかで、周辺への環境の影響が懸念されている。</p> <p>養鯉池が多くある風景は、町の特徴として親しまれる景観となっており、景観の保全と創出が望まれている。</p>
都市環境	<p>地域を流れる河川は、自然環境として保全していくとともに親水空間として活用を図っていくことが望まれている。</p> <p>養鯉業など地域の特産を活かして、地域間の交流を振興していくことが望まれている。</p> <p>河川は治水により災害の危険性を軽減していくことが望まれている他、工場立地など市街化による周辺環境悪化が懸念されている。</p> <p>能越自動車道が通りその南側に北陸新幹線が計画されているなかで、周辺の良好な環境への配慮が必要とされている。</p>

地域別の課題図（山王地域）

地域全体

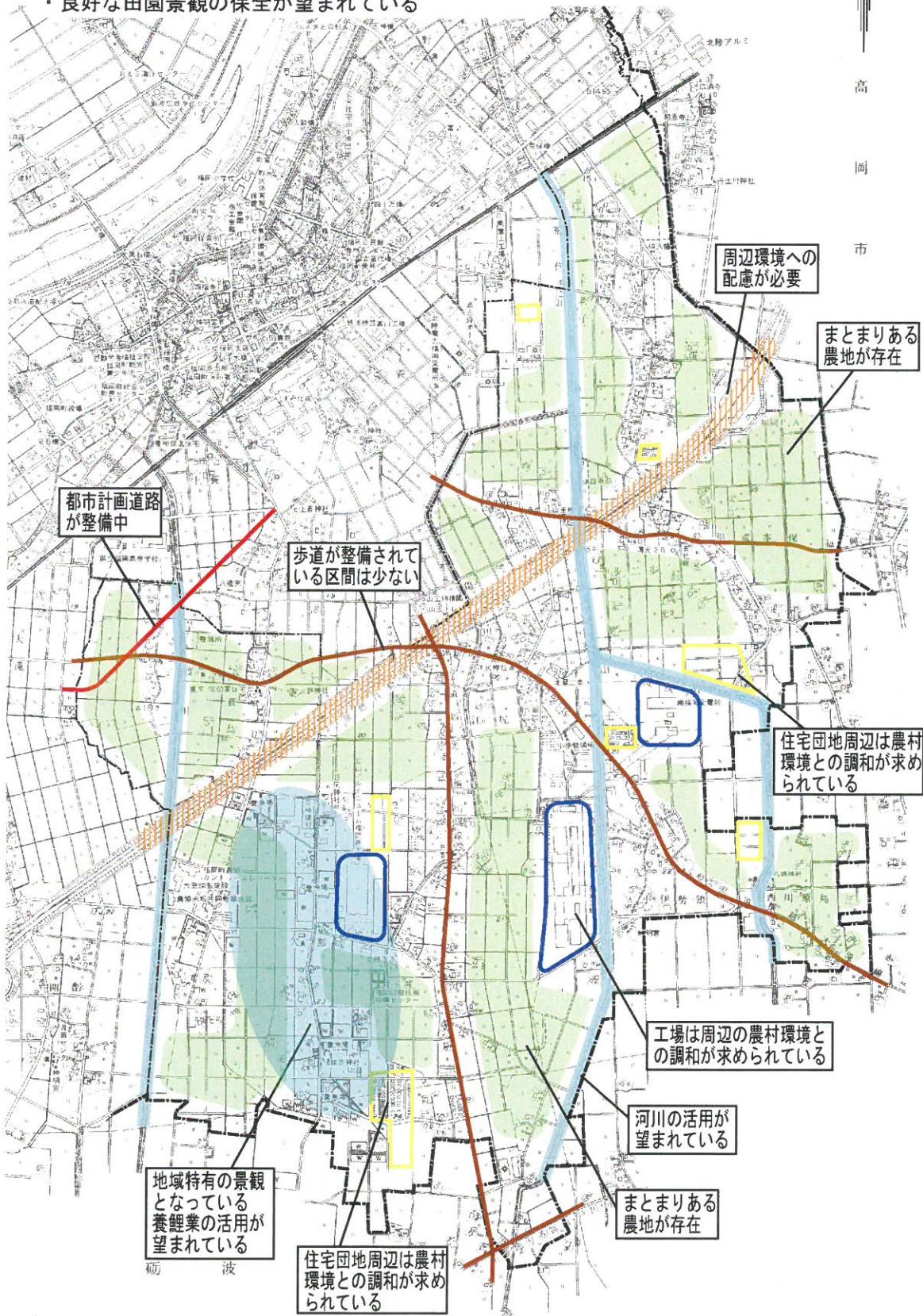
- ・農村地域として良好な農業・農村環境の保全が望まれている
- ・地域行政サービスの充実が望まれている
- ・効率的な公共交通が望まれている
- ・要望にあった公園緑地が望まれている
- ・下水道は供用開始に向けて整備促進が望まれている
- ・良好な田園景観の保全が望まれている



高

岡

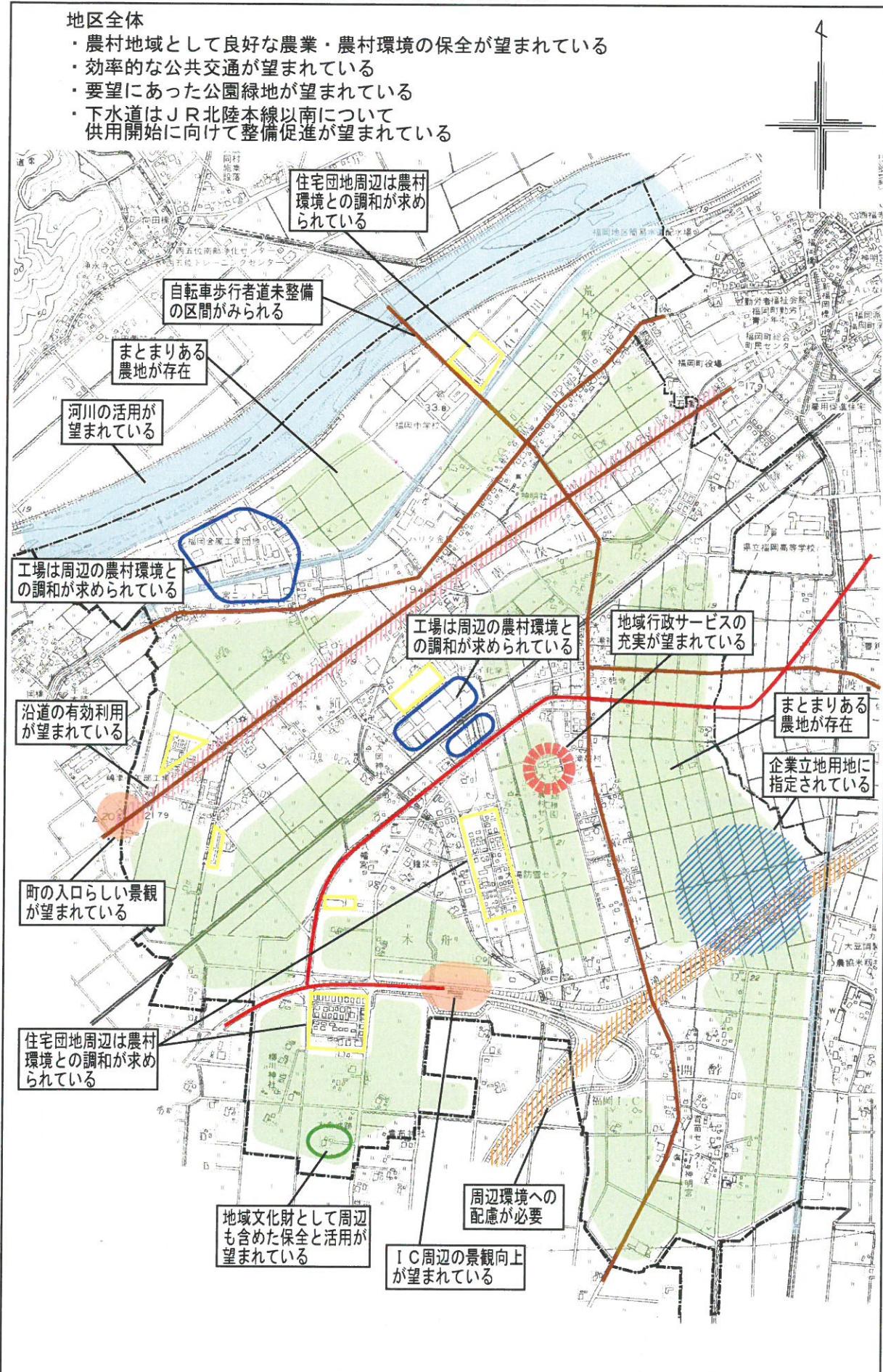
市



(3) 大滝地域

土地利用	<p>集落周辺などでは核家族化の傾向などにより住宅地の整備が望まれている。</p> <p>まとまって農地が存在しているところは、良好な農業生産の場として保全が望まれている。</p> <p>国道8号沿いは、自動車関連施設や沿道型サービス施設の立地の需要に対応していくことが望まれている。</p> <p>能越自動車道に近接するところは、農業地や住宅地の環境に影響を与えないように配慮していくことが必要とされている。</p> <p>福岡ICが開設され交通の利便性が高くなってきたなかで、地域の南西には企業立地用地として指定されている区域がある。</p>
都市施設	<p>県道は、自転車歩行者道が整備されていない区間がみられ、生活道路は幅員が狭い区間がみられる。</p> <p>環境への意識が高まり高齢化が進行するなかで、国道8号を通るバスの活用や集落を連絡するバス路線の充実が求められている。</p> <p>公園緑地は地域には少ないなかで、文化財を活用した公園緑地の整備や河川などの自然を活用した整備が望まれている。</p> <p>下水道はJR北陸本線以南について順次計画が進められている状況にあるなかで、整備促進が望まれている。</p>
都市景観	<p>福岡ICや国道8号は町の入口としてふさわしい景観向上を図っていくことが望まれている。</p> <p>旧北陸街道、国道8号沿い、まとまった農地など各区域の特徴をひきだした景観向上が望まれている。</p> <p>神社仏閣や木舟城址など地域の歴史的な景観は、保全及び活用していくことが望まれている。</p>
都市環境	<p>地域を流れる河川を活用して自然あふれる環境としていくことが望まれている。</p> <p>工業団地等が立地するその周辺は、水質汚濁防止や騒音対策などが懸念されている。</p> <p>中学校が立地する道路周辺は自転車歩行者道の充実を図っていくことが望まれている。</p> <p>地域中心部には、地域コミュニティを育む施設や広場の充実など、地域に密着した公共公益施設やサービスが求められている。</p>

地域別の課題図（大滝地域）



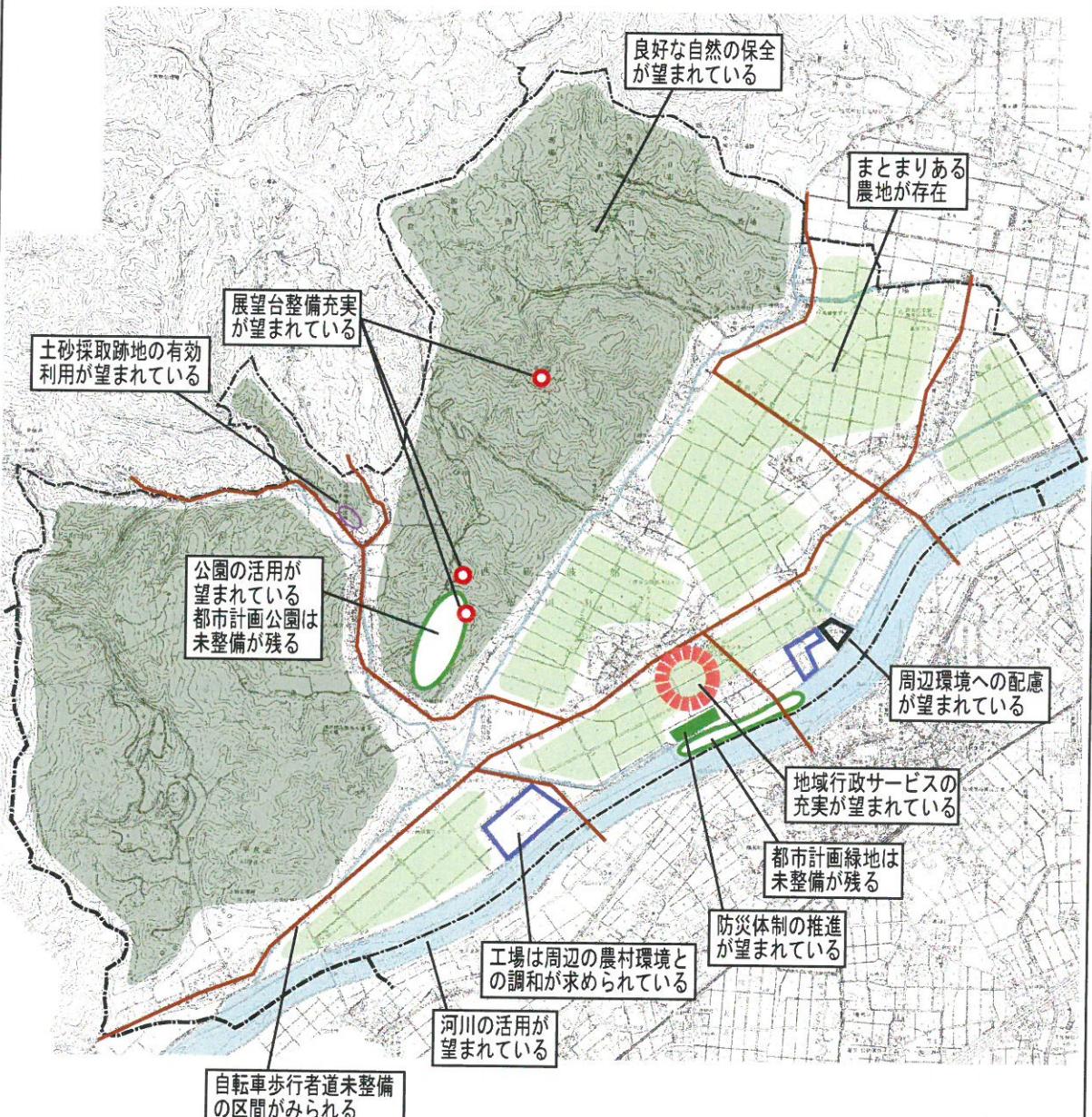
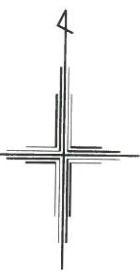
(4) 西五位地域

土地利用	<p>まとまって農地が存在しているところは、宅地化等の市街化が懸念されているが、良好な農業生産の場として保全が望まれている。核家族化により住宅の需要があるなかで、集落周辺で確保していくことが望まれている。</p> <p>丘陵地は良好な自然地として保全が望まれているとともに、自然を活用したレクリエーション施設などの活用が望まれている。</p>
都市施設	<p>県道などは、幅員が狭い区間や路肩または自転車歩行者道が確保されていない区間があり、整備促進が望まれている。</p> <p>都市計画公園と都市計画緑地が計画決定されているが、未整備の区域がみられ、整備促進が望まれている。</p> <p>公共交通として集落を連絡するバスが通るが、公共交通のさらなる利便性の向上が望まれている。</p> <p>地域内に立地する処理施設は、これまでどおり周辺の環境に配慮していくことが望まれている。</p>
都市景観	<p>農地がまとまって広がり山裾に続く良好な景観を保全していくことが望まれている。</p> <p>地域の特徴である菅草の天日干しの風景は、町を代表する良好な風景として保全が望まれている。</p> <p>丘陵地の自然あふれる景観の保全が望まれているとともに、丘陵地から平野部を見渡せる展望台の整備が求められている。</p> <p>平野を流れる河川は、良好な自然景観として保全が望まれている。</p>
都市環境	<p>丘陵地や河川は良好な自然として保全及び活用を図っていくことが望まれている。</p> <p>地域中心部には地域コミュニティを育む施設や少子高齢化社会に対応した地域密着型の行政サービス施設が望まれている。</p> <p>安心して暮らせるまちとしていくため、防災として治山や治水事業や緊急防災体制の推進が望まれている。</p>

地域別課題図（西五位地域）

地域全体

- ・農村地域として良好な農業・農村環境の保全が望まれている
- ・丘陵地は良好な丘陵地域の保全が望まれている
- ・効率的な公共交通が望まれている
- ・地域に密着した公園緑地が望まれている



(5) 赤丸地域

土地利用	<p>集落周辺などでは核家族化の傾向などにより住宅地の整備が望まれている。</p> <p>工場の立地は既存の工場周辺に集約していき、周辺の農村地域の環境と調和が求められている。</p> <p>まとまって農地が存在しているところは、良好な農業生産の場として保全が望まれている。</p> <p>丘陵地は水源かん養や緑豊かな自然地として保全していくことが望まれている。</p>
都市施設	<p>県道は、自転車歩行者道が整備されていない区間がみられ、生活道路は幅員が狭いところがみられる。</p> <p>公園緑地は地域には少ないなかで、身近な児童公園やゲートボール場、自然を活用した公園などが求められている。</p> <p>環境への意識が高まり高齢化が進行するなかで、国道8号を通るバスの活用や集落を連絡するバス路線充実が求められている。</p> <p>地域内に立地する既存の福祉施設の充実や関連した施設の整備充実などが望まれている。</p> <p>下水道は認可区域に指定され順次進められているなかで、供用開始に向けて整備促進が望まれている。</p>
都市景観	<p>農村地域の自然あふれる景観は、背後の丘陵地の景観とともに保全が求められている。</p> <p>丘陵地は良好な自然あふれる景観として保全していくことが求められている。</p> <p>住宅団地や大規模な工場は周辺との調和を図った景観としていくことが望まれている。</p> <p>浅井神社の大けやきや神社仏閣など地域の歴史的な景観は、保全または活用していくことが望まれている。</p>
都市環境	<p>丘陵地や河川の自然は、うるおいある環境としていくために保全していくことが望まれている。</p> <p>地域中心部には、地域コミュニティを育む施設や広場の充実など、地域に密着した公共公益施設やサービスが求められている。</p> <p>福祉高齢化社会に対応すべく、地域に立地する福祉施設の活用や充実を図っていくことが求められている。</p> <p>安心して暮らせるまちとしていくため、防災として治山や治水事業の推進や緊急防災体制づくりが望まれている。</p>

地域別の課題図（赤丸地域）

